４　「物語」　─近世の読本

17年度　甲南大学

★　次の文章を読んで、後の問に答えよ。

　　山部赤人の、

　Ａ　わかの浦に満ちくればａ潟を無み芦辺をさしてたづ鳴きわたる

といふ歌は、人麻呂の「ほのぼのと明石の浦の朝霧」にならべて、歌の父、母のやうにいひ伝へたりけり。このときの帝は、聖武天皇にてｂおはしまししが、筑紫に１広継が反逆せＸ　しか　ば、都に内応の者あらむかとて恐れたまひ、巡幸と呼ばせて、伊賀、伊勢、志摩の国、尾張、三河の国々に行きめぐらせたまふときに、伊勢の三重郡の浦にて詠ませし２おほん、

　Ｂ　妹に恋ふあごの松原見わたせばの潟にたづ鳴きわたる

また、この巡幸に遠く備へありて、３舎人あまた御先に立ちて見めぐる中に、が、尾張の郡の浦辺に立ちて詠みける、

　Ｃ　桜田へたづ鳴きわたるあゆち潟潮干の潟にたづ鳴きわたる

①これらは、同じ帝に４つかうまつりて、５おほんを犯すべきにあらず。むかしの人は、ただうち見るままを詠み出だししが、さきの人のＹ　しか　詠みしとも知らで、いひしものなり。赤人の歌は、紀の国に行幸の御供つかうまつりて、詠みしなるべし。②さるは、同じこといひしとて、とがむる人もあらず、浦山のたたずまひ、花鳥の見るまさめに詠みし、そのけしき絵に写し得がたしとて、めでては詠みしなり。また、同じ万葉集に、詠み人しられぬ歌、

　Ｄ　難波潟潮干にたちて見わたせば淡路の島へたづ鳴きわたる

これまた６同じ心なり。いにしへの人の心くて、人の歌犯すといふことなく、思ひは述べたるものなり。歌詠むはおのが心のままに、また、浦山のたたずまひ、花鳥の色音、７いつたがふべきにあらず。ただただあはれと思ふことは、すなほに詠みたる。これをなむまことの道とは、歌をいふ８べかりける。

〈注〉　人麻呂　　　柿本人麻呂

　　　　広継　　　　藤原広継

　　　　見るまさめ　ただ見たままを

問１　傍線部１「広継が反逆せしかば、都に内応の者あらむか」の説明として最も適当なものを左の中から選べ。

１　広継が反乱を起こしたかも知れないので、広継のようすを知らせてくれるような者は都の中にはいないだろうか

２　広継が反乱を起こしたようなので、広継をまねて、都でも同じような反乱を起こそうとする者が出てくるだろうか

３　広継が反乱を起こしたので、都にも広継と情報を交わしている者がいて、この都でも同じように反乱を起こそうとする者がいないだろうか

４　広継が反乱を起こすようなことがあれば、都の中にも広継の影響を受ける者がいて、援護をしに行こうとするだろうか

５　広継が反乱を起こすならば、広継の反乱に乗じて、都の中でも我こそはと反乱を計画しようとする者がいるだろうか

問２　傍線部２「おほん」の後には省略されている語がある。その語として最も適当なものを左の中から選べ。

１　歌　　２　帝　　３　巡幸　　４　行幸　　５　絵　　６　心

問３　傍線部３「舎人」の読みを平仮名で記せ。

［　　　　　　　　　　］

問４　傍線部４「つかうまつりて」を十字以内で現代語に改めよ。

［　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　］

問５　傍線部５「おほんを犯すべきにあらず」の説明として最も適当なものを左の中から選べ。

１　天皇のお気持ちを乱すようなことなどすべきではない

２　天皇に同行している者同士が争ったりすることはない

３　天皇のお作りになったものを盗み取ったりするはずがない

４　天皇の行幸を邪魔するようなことがあってはならない

５　天皇に献上したものであるならば取り戻すことはできない

◎問６　傍線部６「同じ心なり」の説明として最も適当なものを左の中から選べ。

１　昔の人も今の人も素直な心を持っていることに変わりはない

２　同じような風景に対して同じような感動を覚えた

３　赤人と人麻呂を尊敬しているので同じ気持ちを味わいたい

４　同じような表現が幾度となく繰り返して用いられている

５　たとえ帝に対しても特に遠慮することはない

問７　傍線部７「いつたがふべきにあらず」の説明として最も適当なものを左の中から選べ。

１　いつ変わるのだろうかということはわかるはずがない

２　いつかは変わらねばならないというものではない

３　いつの間にか誰かに変えられてしまうようなことはない

４　いつかは変わるだろうと待っていても変わるはずがない

５　いつでも誰に対しても変わりがあるはずがない

問８　傍線部８「べかりける」の文法的説明として最も適当なものを左の中から選べ。

１　推量の助動詞「べし」の未然形＋過去の助動詞「けり」の終止形

２　推量の助動詞「べし」の未然形＋過去の助動詞「けり」の連体形

３　推量の助動詞「べし」の連用形＋過去の助動詞「けり」の終止形

４　推量の助動詞「べし」の連用形＋過去の助動詞「けり」の連体形

５　推量の助動詞「べし」の連体形＋過去の助動詞「けり」の終止形

６　推量の助動詞「べし」の連体形＋過去の助動詞「けり」の連体形

７　推量の助動詞「べし」の已然形＋過去の助動詞「けり」の終止形

８　推量の助動詞「べし」の已然形＋過去の助動詞「けり」の連体形

【確認問題】

１　Ａ～Ｄの四首の歌に共通して用いられている語句を三つ抜き出せ。単語の一部であってもよい。

・（　　　　　　　　　　　　　　　　　）

・（　　　　　　　　　　　　　　　　　）

・（　　　　　　　　　　　　　　　　　）

２　波線部ａの意味として適当なものを次から選べ。

ア　干潟をなくして

イ　干潟がないので

ウ　干潟がないと思って

エ　干潟がなかったら

３　波線部ｂの文法的説明として適当なものを次から選べ。

ア　尊敬･本動詞　　イ　尊敬･補助動詞

ウ　謙譲･本動詞　　エ　謙譲･補助動詞

４　　　　Ｘ・Ｙの「しか」の文法的説明として適当なものをそれぞれ次から選べ。

ア　過去の助動詞「き」の未然形

イ　過去の助動詞「き」の已然形

ウ　副詞　　エ　名詞　　オ　接続詞

Ｘ＝〔　　　〕　Ｙ＝〔　　　〕

５　二重傍線部①「これら」は誰と誰のことか、人名を抜き出せ。

（　　　　　　　）と（　　　　　　　）

６　二重傍線部②「さるは」の意味として適当なものを次から選べ。

ア　そうではあるが　イ　それというのは

ウ　そうなるはずの　エ　それがしかも

【補充問題】

７　作者は歌をどう詠むべきだと言っているのか、最も適当なものを次から選べ。

ア　昔の歌人が詠んだ歌を参考にして、きちんと詠むべきだ。

イ　素直な性格の詠み手だけが、誠の歌を詠むことができる。

ウ　自分が感動したことを、作為を加えずそのまま詠むべきだ。

エ　思いのままに名声を得たい、などと思わずに詠むべきだ。

【解答】

問１　３

問２　１

問３　とねり

問４　お仕え申し上げて（８字）

問５　３

問６　２

問７　５

問８　４

【確認問題】

１　潮（干）・潟・たづ鳴きわたる

２　イ

３　イ

４　Ｘ＝イ　Ｙ＝ウ

５　山部赤人（と）高市黒人

６　ア

【補充問題】

７　ウ

【現代語訳】

　山部赤人の、　  
　　　和歌の浦に潮が満ちてくると干潟がないので、芦の生い茂る水辺を目指

　　して鶴が鳴きながら飛んでいく。

という歌は、（柿本）人麻呂の「ほのぼのと（明けていく）明石の浦の朝霧（の中で島陰に隠れて見えなくなっていく船を思うことだ）」（という歌）と並べて、歌の父、母のように（昔から人々は）言い伝えていた。この（山部赤人が「わかの浦に」を詠んだ）時の帝は、聖武天皇でいらっしゃったが、筑紫（現在の北九州地方）で（藤原）広継が反乱を起こしたので、都にも（広継に）内通する者がいるかもしれないと心配なさって、巡幸という名目にして、伊賀、伊勢、志摩の国（どれも現在の三重県）、尾張、三河の国々（どちらも現在の愛知県）を巡って行幸なさる時に、伊勢の三重郡のの浦でお詠みになった御（歌）、  
　　　妻を恋しく思ってあごの浦の松原を見渡すと、干潟を目指して鶴が鳴き

　　ながら飛んでいく。

また、この（聖武天皇の）巡幸では遠くまで警備があって、達がたくさん先遣隊として出発して見回る中に、高市黒人が、尾張の愛智郡の海辺に立って詠んだ（歌）、　  
　　　桜という地名の田の方へ鶴が鳴きながら飛んでいく。潮が引いたあゆち

　　潟の方へ鶴が鳴きながら飛んでいく。

これら（＝山部赤人と高市黒人）は、同じ（聖武）帝にお仕え申し上げて、（天皇のお作りになった）お歌を盗み取るはずがない（のである）。昔の人は、ただ見るままを（歌に）詠んだが先人がそう詠んだとも知らないで、（同じように）詠んだ歌なのである。赤人の歌は、紀の国への（聖武天皇の）行幸にお供し申し上げて、詠んだのであろう。そう（＝同じ表現）ではあるが、（天皇と）同じ内容を詠んだといって、咎める人もいないし、海や山の様子、花や鳥を目の当たりにして詠んだ、その景色は絵に写し取るのも難しいということで、心惹かれて（歌に）詠んだのである。また、同じ万葉集に（ある）、詠み人が知られていない歌、  
　　　難波潟の干潟に立って（遠くまで）見渡すと、淡路島へ向かって鶴が鳴

　　きながら飛んでいく。

これもまた同じ心（＝同じような風景に対して同じような感動を覚えたの）である。昔の人の心は素直で、人の歌を盗むということはなく、（歌はただ）自分の思いを述べたものなのである。歌を詠むのは自分の心の（思う）ままで、また、海や山の様子や、花の色や鳥の声は、いつでも（誰に対しても）変わりがあるはずがない（のである）。ただただすばらしいと心動かされることを、素直に詠んでいる。これを誠の道だと、歌においては言うようである。